

2018 年度 学校関係者評価報告書

日本福祉大学中央福祉専門学校

1. 本校の教育理念・目的に基づく 2018 年度重点目標と計画

- ・FD ならびに教育環境の改善による教育の質的転換を図る
- ・学生募集の改善に向けた積極的な取り組みを推進する
- ・介護福祉士科における外国人留学生受入と教育を安定的に推進する
- ・各学科における国家試験合格率目標を介護福祉士科と言語聴覚士科では 100%、社会福祉士科において 80%以上に置く
- ・開校 30 周年を 2019 年度に控え、多層かつ多様な同窓生（同窓会）との連携や交流を再構築し、リカレント教育事業の開発に着手する
- ・言語聴覚士科開設 10 周年を 2019 年度に控え、これまでの教育と一般向け訓練・支援事業の成果を踏まえた新たな展開について検討を進める

2. 上記目標と計画、その取り組みに対する評価と意見

- ・福祉系専門学校では県内でもっとも伝統があり、学科単位や教員個人の取り組みや努力はうかがえるが、より分かりやすい指標を持ち、社会の動向や接点を意識した取り組みと情報発信に期待したい。また、他校と比べ施設設備面での更新も期待される。
- ・学生募集の向上と合わせて、進級と卒業が高い確率で達成されることを求める。
- ・外国人留学生の教育と支援のノウハウは大学と協力し、早期かつ実質的に確立されたい。
- ・介護福祉士国家試験の完全義務化に備え、他学科に習って対策教育を拡充されたい。
- ・同窓会活動の活性化や卒業後の帰属意識の高まりが感じられる。その資源を最大限に生かした取り組みに期待している。

3. 学校自己評価の結果について

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学校の理念・目的・育成人材像は明確になっているか	④	3	2
社会情勢・ニーズに向き合った将来構想・計画を持っているか	④	3	2	1
上記のコンセプトや計画は広く社会に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標・育成人材像は福祉・医療機関等のニーズにマッチしているか	④	3	2	1

(2) 学校運営

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	学校の目的等に沿った運営方針の策定状況	④	3	2
運営方針と事業計画の策定は連動・合致しているか	④	3	2	1
運営組織・意思決定の仕組みは規則等で定め、機能しているか	④	3	2	1
教務・校務の組織・意思決定システムの整備状況	④	3	2	1
業界・地域社会に対するコンプライアンス体制の整備状況	④	3	2	1
教育活動に関する情報公開は適切になされているか	4	3	②	1
情報システム化等による業務の効率化は図られているか	④	3	2	1

(3) 教育活動

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	教育課程編成と実施方針は教育理念等に基づいているか	④	3	2
教育到達目標や学習時間の確保は修業年限範囲内で適切か	④	3	2	1
学科のカリキュラム進行は体系的な編成か	④	3	2	1
実践的な職業教育を担保したカリキュラムや教授法であるか	④	3	2	1
関連する福祉・医療業界と連携した教育課程の点検状況	④	3	2	1
カリキュラム全体での実習科目の体系的な配置・実施状況	④	3	2	1
授業評価の実施・評価状況	4	③	2	1
職業教育の外部評価実施状況	4	③	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	④	3	2	1
資格取得の指導はカリキュラムの中で体系化されているか	④	3	2	1
教員の確保は教育目標達成に適合し、適切に行われているか	④	3	2	1
教員の確保・配置は社会・業界連携の推進にも適合するか	④	3	2	1
教育力のアップデートに資する研修、指導実施体制はあるか	4	③	2	1
職員の能力開発は研修等で適切に行われているか	4	③	2	1

(4) 学修成果

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
	国家資格取得率の向上・改善は図られているか	4	③	2
就職率の向上は図られているか	4	③	2	1
退学率の低減は図られているか	4	③	2	1

卒業生・在校生の社会的な活躍や評価を把握しているか	4	③	2	1
卒後のキャリア形成への視点を持った教育活動の改善状況	④	3	2	1

(5) 学生支援

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
進路・就職指導体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談窓口・体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う体制の整備状況	4	③	2	1
課外活動への支援体制（要望があった場合）	4	③	2	1
学生の生活環境に関する支援・相談体制	4	③	2	1
保護者・家族との適切な連携	④	3	2	1
卒業生への支援・適切な信頼構築	4	③	2	1
社会人学生のニーズを踏まえた教育環境の整備	4	③	2	1
高校（中学）との連携によるキャリア教育 *介護福祉士科	④	3	2	1

(6) 教育環境

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
施設・設備は教育に必要十分な整備・設置状況にあるか	4	③	2	1
実習施設は教育課程の要件を満たしているか	④	3	2	1
防災に対する体制・取り組みは適切か	4	③	2	1

(7) 学生募集

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
学生募集活動は適切に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動は教育成果や内容を適切に伝えているか	④	3	2	1
学納金の設定は妥当か	④	3	2	1

(8) 財務

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
中長期的な財務基盤を確保しているか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当か	④	3	2	1

会計監査は適正に行われているか	④	3	2	1
財務状況の情報公開は適切に行われているか	④	3	2	1

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
法令や設置基準等の遵守、適正な運営にあるか	④	3	2	1
個人情報の保護に関する対策・対応は適切か	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点改善の取り組みは適切か	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
学校の教育資源・施設の地域社会への開放・貢献状況	④	3	2	1
学生のボランティア活動に対する奨励・支援状況	4	③	2	1
公開講座、教育訓練の受託等に積極的か	④	3	2	1

(11) 国際交流・外国人留学生の受け入れ（介護福祉士科）

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1			
外国人留学生の受入は戦略・計画を持って行っているか	④	3	2	1
受入手続きや在籍管理は適切に行っているか	④	3	2	1
学修・生活に対する指導・支援体制は適切か	4	③	2	1
学修・受入の成果は社会に活かされ、評価されうるか	4	③	2	1

4. 自己点検を踏まえた評価、意見について

- ・日本福祉大学と関連して学校運営の骨格はできているようだが、より社会とのつながりが重要である点など、専門学校ならではの特徴が見えるようにしてほしい。スマートフォン向けに開設したサイトにも物足りなさを感じる。
- ・設備の改修改善は短期間では進まないと思うが、入口部分やアメニティの部分から着手するなど、優先順位や重点項目を持って取り組まれない。
- ・教育力、技術の向上と合わせて、多様化する学生に対するコミュニケーションや分析能力を磨くような取り組みが必要ではないか。本校含めて最近の学生を職場で迎えて痛感している。専門学校という短い在学期間で負える責任ではないが、職業教育の貴重な時期に、ぜひ追求

されたい。

- 同時に、業界とも協力し、卒後研修やリカレント教育の部分でも積極的な展開を期待する。国家資格の取得が最大目標であると同時に、実践力を高めるためには卒後であっても双方が協力すれば向上すると考えられる。
- 2018年度に策定した中期計画にある様々な課題意識と目標は、まさに中長期的に取り組まれるものである。そうは言っても単年度ごとの計画と成果の確認（PDCA サイクル）をあいまいにすることなく、こうした自己評価と点検を積み重ねてもらいたい。学生募集や卒業率、国家資格合格率などは毎年の結果が見えるので、丁寧で適正な教育・運営をされたい。

以上